

選考試験 専門記述式問題 (歴史学芸員 (古代・中世史) 歴史学)

問一 平安時代中期頃から地方政治は変化するが、その体制の変化について、「国衙」・「国司」・「目代」・「在庁官人」という用語を用いて説明せよ。

問二 日本の中世国家のあり方について、「権門体制論」という用語を用いて説明せよ。なお、他の学説についても言及すること。

問三 次の語句について説明せよ。

- (1) 長屋王家木簡
- (2) 天慶の乱
- (3) 王法仏法相依論
- (4) 兵庫北関入船納帳